**２.ADLの評価**

**◎modified Rankin Scale（ｍRS)**

脳卒中の慢性期の転帰を評価する移動能力の簡易スケール0から1または2までが転帰良好とされる。

|  |  |
| --- | --- |
| ０ | 正常 |
| １ | 症状はあるがとくに問題となる障害はなく、通常の生活が可能 |
| ２ | 軽度の障害:以前の活動は障害されているが、介助なしに自分のことができる |
| ３ | 障害のため介助が必要だが、歩行は介助なしで可能 |
| ４ | 介助なしで日常衣生活、歩行ともに不能 |
| ５ | ベッド上の生活で常に看護や注意が必要 |
| ６ | 死亡 |

**◎Barthel Index**

米国で作られた能力低下の評価法で得点が高いほど日常生活動作が自立している。セルフケアや移動能力に重点を置いた評価法である。

以下の１０項目について、不可能、助けが必要、独立の３段階で評価する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 助けが必要 | 独立 |
| 食事１） | ５ | １０ |
| 車椅子とベッド間の移動２） | ５～１０３） | １５ |
| 身繕い４） | ０ | ５ |
| トイレ動作 | ５ | １０ |
| 入浴５） | ０ | ５ |
| 水平面の歩行 | １０ | １５ |
| ＊歩けない場合のみの点数 | ０ | ５ |
| 階段昇降 | ５ | １０ |
| 着衣６） | ５ | １０ |
| 大便コントロール | ５ | １０ |
| 小便コントロール | ５ | １０ |

 １）食べ物を細かく切り裂く必要があれば助けが必要と判断する

 ２）ベッドで起き上がることは含まれる

 ３）軽度の介助や監視程度なら１０点、座ることは自立しているがそれ以外は全介助なら５点

 ４）洗顔、髪梳き、髭剃り、歯磨き

 ５）衣服の着脱、拭く、水を流す

 ６）靴を履くこと、ファスナーを閉めることを含む

３０